

定期演奏会から3公演を選んでチケットをまとめて買えることができる「マイフェイバリット3」をご存じですか？ 10プログラム20公演の中から自由に組み合わせることができるのが魅力ですが、3つをどう選べばよいのか？という声も……。そこで、「おすすめ」の組み合わせをご紹介します。



## トランペット首席奏者 福田善亮の **おすすめ!**

### ＜共有したい私の楽しみで選ぶ3公演＞

- 9月 第622回定期演奏会 ハイイツ・ホリガー生誕80年記念プログラム
- 10月 第623回定期演奏会 マックス・ボンマー指揮 バッハ／ヨハネ受難曲
- 12月 第625回定期演奏会 広上淳一指揮 マーラー／交響曲第10番(クック版)

9月の定期演奏会は、音楽家ホリガーとの3回目の共演が楽しみ。特にロマン派の作品での正統的な音楽づくりが素晴らしいと感じています。今度もシューマンの「春」がどんな演奏となるのか期待しています。



H・ホリガー

12月の定期演奏会は、札幌での久しぶりのマーラー、それも初の第10番が楽しみ。

交響曲は9番までとされているマーラーの、終わりの先にある世界を感じてみてください。クックさんが完成させたこの第10番を自分はこれまで何度も演奏していますが、札幌では初めて。ぜひ聴いていただきたい作品です。

そして、10月の定期演奏会は客席で札幌を聴くのが楽しみ。バッハのヨハネ受難曲はトランペットの出番がありません。自分もKitaraの客席で定期演奏会を鑑賞できるめったにない機会、ぜひみなさんと一緒に楽しみたいです。

## 事務局長 市川雅敏の **おすすめ!**

### ＜発見の醍醐味がある3公演＞



- 8月 第621回定期演奏会 マティアス・パーメルト指揮 ブラームス／二重協奏曲ほか
- 11月 第624回定期演奏会 川瀬賢太郎指揮 ムソルグスキー生誕180年プログラム
- 2020年2月 第625回定期演奏会 オリ・ムストネン指揮とピアノ ベートーヴェン生誕250年

出会いと発見は定期演奏会の醍醐味のひとつ。特に、期待を上回る発見の3公演です。

8月の演奏会は、郷古廉と横坂源、日本から世界にはばたく若手奏者を発見。共に10代から活躍、すでに札幌とも共演していますが、ますます輝きを増している今イチオシの2人をブラームスの名曲で改めてご紹介します。



郷古 廉

11月の演奏会は、ムソルグスキーの元来の音楽を発見。「はげ山の一夜」「展覧会の絵」で有名なムソルグスキーですが、みなさんがいつも聴いているのは編曲版です。生誕180年にオリジナル(とそれにより近い版)を聴いて、ムソルグスキーが本来もつロシア的な音楽性を感じてください。



横坂 源

2月の演奏会は、またひとり世界的音楽家が登場。フィンランド出身の世界的ピアニストムストネンは、指揮、作曲も行い、そのいずれにおいても卓越した才能を発揮しています。ベートーヴェンのピアノ協奏曲の弾き振りでは、現代の鬼才を発見する喜びがあるはずです。